



令和5年  
4月20日(木)

## 自主創造の実現に向け

新しい学年が始まりました。授業はオリエンテーションの時期にあるものの、すでに生き生きとした学びが感じられます。一年生は音楽で校歌の練習を始め、数学では負の数という概念に出会いました。新しいものへの挑戦に目を輝かせていました。

二年生理科では、動画を通じて実感を伴った理解に迫り、社会では、新しい教科担任のもと、ワークシートに向かっていました。三年生理科は、「生物のふえ方」、美術は一年間のガイダンスでした。目先にとらわれず、力を高めてほしいと思います。

## 見抜き再構築する力を

本年度、確かな学力の定着と向上を図るうえで、論理的な思考過程が充実する授業の創造を目指していきたいと考えています。具体的には、「物事の本質や違い・関連を見抜き力」「情報や考えを吟味し、再構築する力」などをイメージしています。

また、きめ細かく個別最適で多様な学びをさらに充実させたいと思います。そのための仕組みとして、少人数教育(3年数学)があります。加配を最大限に活用し、可能な限り習熟度を考慮した指導を行ってまいります。

## きめ細かく個別最適に

学力向上を図るには、わからないこと、躓いているところを自分から訊こうとする姿勢が大切であるといわれています。

そうした真の学びを生み出す装置として考えられるのは小グループによる学び合い(卍教え合い)です。コロナ禍による制限を超えて、本年度は再び本格的に充実させていきたいと考えています。

また、ICT(タブレット・プロジェクト)等を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びを実現したいと思えます。その過程で、一人一人が教室に「居場所」「絆」を感じ、自尊感情を高める授業が創造されることを期待しています。

## 進取の気性で一歩前へ

十四日には、学級役員(室長・代議員・書記)と生徒会専門委員(生活・環境・保健・放送・図書)の認証式がありました。



呼名にしっかりと応えるように、任された仕事への責任感とやる気を感じながら、代表生徒に認証状を手渡しました。この気持ちをもち、ノルマやルーティンワークにとどまらず、新たな取組にも挑戦して一歩前と進めてくれるのではないかと期待しています。

放課後、さっそく、第一回専門委員会がありました。図書室では、翌週から本の貸しだしを

始めるために図書委員が打ち合わせを行っていました。今年度、図書室には、『みえ森と緑の県民税市町交付金事業』により、「森と人をつなぐ学びの場づくり」の一環として、県内産の木材を使った新しい机と椅子を多数配置していただきました。ヒノキの香が漂う清新な環境のもと、新たな読書意欲が喚起され、知識や感受性が広がることを願っています。

本についても、ライオンズクラブ様、伊藤製作所様より多数寄贈いただいております。昨年度は、早川産業様より学級文庫の本を寄贈いただきました。大切に読ませていただいております。



## 学校給食が始まりました!

今年度から給食が開始されました。二、三年生にとつては小学生の時以来ですが、混乱もなく、毎日、おいしくいただけているようです。

食は健康の源。給食を通じて食への関心を高めつつ、体育や部活動、自転車通学などを通じ、コロナ禍で伸び悩んでいるといわれている体力のアップを進めたいと思います。

